

要望書（回答）

① 子ども医療費無料化について

昨年、「全国市長会で制度化、地方交付税増額を要望」という回答をいただきましたが、その後の経過等をお知らせください。

【回答】（健康こども部こども支援課 担当）

子ども医療費助成の拡大につきましては、北海道市長会を通じて国や北海道に「全ての子どもが均一に医療給付を受けられるよう国において国庫補助制度を創設するよう」要望しているところであり、北海道からも「国が全国一律の助成制度を創設すべきものと考えており、今後も全国知事会とも連携しながら、あらゆる機会を通じて要望していく。」との回答を受けております。

本市では、今年8月から中学生の入院に対する医療費助成を開始する予定でありますが、やはり全国一律の基準で受給できるような国による制度設計が望ましい姿と考えておりますので、引き続き北海道市長会などの要望を重ねるとともに、本市における課題や優先順位を考慮しながら、別途、医療費助成全体としての事業の在り方や、展開などを検討してまいりたいと考えております。

② 沼ノ端交流館の利用実態について

日曜、祝日が利用できない、調理室の利用制限がある、などせつかくの施設が出来たのに地域の要望に応じていただけない点が心配です。運営している指定管理者と市の連携・指導監督はどのようになっていますか。

【回答】（健康こども部青少年課 担当）

沼ノ端交流センターは、市直営の出張所、貸館用のミーティングルーム、本の貸出し返却が可能な図書コーナーのほか、幼児室、遊戯室、調理室、スタジオ等からなる北栄児童センターで構成される複合施設となっております。

ミーティングルームや図書コーナーにつきましては年末年始を除き、日曜及び祝祭日も開館しておりますが、児童センターにつきましては、通常月曜から土曜日の開館となっております。

御要望の調理室につきましては、児童センターの施設として設置しておりますので、児童センターが開館している時間帯におきましては、一般利用者への制限がなされますこと御理解願います。ただし、児童センターの開館時間外である夜間、日曜、祝日につきましては、遊戯室、活動室、調理室、スタジオは

貸館の対象となっておりますので、御利用希望がございましたらお問合せください。

今後は、児童センターの開館時間帯でありましても、児童が利用していない施設につきましては、調整の上利用ができるよう指定管理者と協議し、より多くの市民の方に御利用いただけるように努めてまいりたいと考えております。

③ 苫小牧市の幼稚園、保育園の保育料無償化実施について

無償化となりますが、財源や実費徴収、対象年齢、認可外施設では、待機児童増など課題も多いと聞いています。市ではどのようにお考えでしょうか。

【回答】（健康こども部こども育成課 担当）

保育料無償化は、3歳以上の未就学児、3歳未満の住民税非課税世帯の子どもが利用する保育所・幼稚園・認定こども園などの認可施設の利用料のほか、幼稚園が実施する預かり保育の一部、事業所内保育所などの認可外保育施設の利用料につきましても、一部上限額が定められますが、本年10月から無償となる予定です。

財源につきましては、今年度は臨時交付金により全額国費で負担され、令和2年度以降は、本年10月に予定される消費税率引上げに伴う増収分が交付税措置され、これを財源に充てることとなります。また、この度の無償化は保育料に限定されるため、保育料に含まれない経費につきましては、全て実費徴収となります。

現在、国からの交付額の見通しや、無償化に係る対象経費の算出などを精査しておりますが、多岐にわたる課題を整理した上で、利用者の負担軽減だけでなく、施設運営にまで影響が及ぶことから、国の動向を注視しながら、対応について精査していきたいと考えております。

なお、保育料無償化の実施により、今後の保育ニーズに影響し、待機児童の解消にまで及ぶものと推測していることから、これらの実情を踏まえて、効果的な待機児童対策を講じたいと考えております。

④ IR 建設のためのインフラ整備の計画、予算について

施設建設に関わる周辺環境整備は事業者が行う計画でしょうか。

【回答】（総合政策部国際リゾート戦略室 担当）

IR は民設民営の施設でございますことから、事業者が負担することを基本に考えておりますが、例えば IR までの道路などインフラの整備につきましては、一定の負担の必要性がでてくる可能性もございます。

整備するインフラの費用や優先順位などにつきましては、北海道が IR 誘致を進める場合には、北海道とともに今後より具体的な調査、検討を進めていく必要がございます。

⑤ 放課後児童クラブの実態（指導員配置や児童の定員）について

苫小牧市の放課後児童クラブの現状を教えてください。また、規制が緩和されると聞きましたが、苫小牧でもそれに沿った運営になりますか。

【回答】（健康こども部青少年課 担当）

苫小牧市には現在放課後児童クラブは 38 教室（直営 36 教室、民間 2 教室）あり、常時 2 名以上の職員が指導にあたるよう配置されております。児童の定員は 1 教室 30～55 人程度を基準としておりますが、利用率を勘案して、受入れを拡大している状況です。国からは職員配置基準等における規制の緩和が示されておりますが、本市では従前どおりの職員配置基準での対応を考えているところです。

⑥ 特別支援学校の苫小牧市の配置について

計画・設置の進捗状況を教えてください。

【回答】（教育部学校教育課 担当）

身近な地域で必要な教育を受けられるよう、本市では特別支援学校を担当する北海道教育委員会に対し、これまで市内への特別支援学校の設置について要望を続けています。

平成 31 年 3 月に、北海道議会予算特別委員会において「必要な予算の確保など、早急に検討を進める」と北海道教育委員会教育長から答弁がありましたが、引き続き実現に向けて、働き掛けと情報収集を続けてまいります。

⑦ 児童相談所苫小牧分室新設について

職員の配置や地域、学校との連携など課題も多いと聞きますが、進捗状況を教えてください。

【回答】（健康こども部こども支援課 担当）

室蘭児童相談所分室につきましては、長年にわたり北海道への要望を続けてまいり、設置が表明されたところです。

進捗状況につきましては、職員配置数は、令和元年度の配置基準に基づき試算すると、児童福祉司8名、児童心理司4名となり、今後、こうした基準も踏まえながら、分室の業務に必要な組織体制や人員について検討していくとお聞きしております。また、設置場所は、双葉町の旧北海道立苫小牧病院院内保育所とその隣接地で、令和3年度の早期に設置方針が示されております。

⑧ コンビニエンスストアの成人誌撤去について

子どもたちが出入りするコンビニでの成人誌の陳列・販売が、各方面からの取り組みで「撤去」に向かうこととなりました。新婦人は、今後も見守る取り組みを続けますが、自治体にもご協力を願うことは出来ますか。

【回答】（教育部学校教育課 担当）

学校付近のコンビニエンスストア等で、店側で対応に御配慮いただけるのであれば、健全育成の観点ではありがたいお話であると受け止めておりますが、行政として、業界及び各店舗に撤去の働き掛けをすることは難しいものと考えております。